

白山神社人形昇天祭り案内

人形は、お子さんが丈夫でりっぱに育つようにという願いをこめて贈られたものです。

人形と書いて「ひとがた」と読む場合がありますが、人間の身代わりとして使われた人形のことです。厄災を祓うためにこれを流したことが「流し雛」の源流とも言われています。古代には、子どもが誕生すると枕元に「ひとがた」を置き、厄災を祓い、無事成長することを祈ったと言われています。

節句に飾る人形も、ままごと遊びで抱えて遊んだ人形も、子どもさんの情操や人間形成に大きく役立ってきた人形達ばかりです。

お子さんの成長と共に、古くなったり壊れたりした**人形・ぬいぐるみ・はく製・いらなくなつた写真**の昇天祈禱祭を左記のように行います。

記

一、日時 六月十一日(日)

午前十時より午後三時

一、ところ 白山神社

一、祈禱料 三千円



金幣社 白山神社

電話 五五―三七七一

当日ご都合の悪い方は、事前に社務所(神泉殿)にお届け下さい。一緒にご祈禱をし、焚上げいたします。